

開催報告

Geosynthetics Asia 2008 上海 参加報告

前田工織(株) 伊藤 雅夫

IGS 中国支部 (CCIGS) と Chinese Technical Association on Geosynthetics (CTAG) の共同主催による第4回ジオシンセティックス アジア会議 (Geosynthetics Asia 2008) が、6月17日～20日に上海で開催された。

参加者は、28ヶ国から約200名 (日本からは約20名) であった。

発表論文数は159編 (日本からは17編) であったが、論文の大半を占める中国は四川大地震の関係で発表者の欠席が目立った。

会議は16の Parallel Technical Session に分かれて、開会式の翌日から2日間にわたり行われた。開会式の後に、龍岡会長の Special Lecture (Geosynthetics Engineering Combining Two Engineering Disciplines) と、Prof. Palmeria (ブラジル) による Mercer Lecture があった。

Keynote Lecture は、安福(九州大)、Gourc(フランス)、Cazzuffi(イタリア)の3名であり、Invited Lecture は、H.B. Chen(中国)、Bao(中国)、Chew(シンガポール)、Shin(韓国)、Leshchinsky(USA)、Bergado (タイ)、Fan (中国)、Y.M. Chen(中国)の8名であった (敬称略)。



会議場(Shanghai Exhibition Center)



開会式での様子

開会式の後に、「Ceremony of IGS Awards」があった。5つの分野の賞があり、各受賞者は下記のとおりである。

1 功績賞

赤木先生、Prof. Bao(中国)

2 Student Award

東京理科大 相沢氏他4名

3 Achievement Award

赤木先生、Prof. Bao, Prof. Shin (韓国)

4 Corporate Member Award

鹿島建設株式会社、旭化成ジオテック株式会社

5 Service Award

嘉門先生、Prof. Bao



発表会場の様子

会議初日には Welcome Party, 最終日には Banquet が開催されたが、いずれも美味しい上海料理を食べながらの和やかなひと時であった。



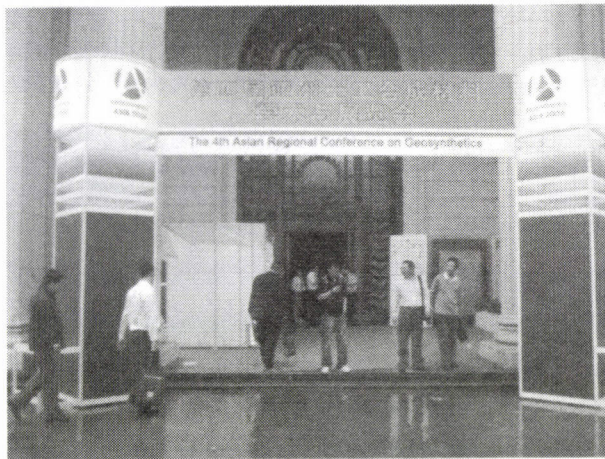
功績賞受賞の赤木先生(中央)と Prof. Bao(左)



Welcome Party での龍岡会長の挨拶

会議の開催時期に合わせて展示会も開催された。

展示は 14ヶ国 66 ブースで、日本からはソルパック協会 1 社だけであった。展示ブースの殆どが中国のジオシンセティックスメーカーで、中国国内でのジオシンセティックス市場が非常に多いことから、メーカーの数が多いことは納得できるが、ただ、日本製品と同じようなものが多数あり、性能はともかく価格が安いことに驚いた。



展示場会場入口



展示場ブース

なお、上海は 2010 年の万国博を目指して市内は建設ラッシュで、ビル、道路、地下鉄などの工事が至る所で行われており、非常な活気を感じた。

次回のジオシンセティックス アジア会議は、2012 年に Bangkok (タイ) で開催される予定である。